

磐城時報

福島縣石城郡平町... 印刷所 磐城時報社

四倉町民の要望達成 金澤所長左遷せらる

昨二日付土木課入りを命ぜらる

後任決定

松川浦所長 關根技師

(昨報)四倉町消防組頭同町會議 員の金成岩吉氏を築港人夫頭に 採用せらるる七千町民排撃の 渦中に飽まで自己の誤謬によ

所長更迭の報に

喜色漂ふ四倉全町

當人にはお氣の毒だが、 喜ぶの某氏語る

抗爭半歳過勞極まる工事方針に四倉全町は昨日憂色全く去り喜 ぶより四倉町の死命を制す船溜堀色に包まれてゐる。此れに就い

養鶏組合 大飛躍

植田町養鶏組合は創立後の發展 振り目覚ましいものがあり現在組 合員七十七名その養鶏一千五百

平商工會が釣銭準備

舊二日市の初賣りに備へ 會員の切替應需

會員の切替應需

三月七日 磐中卒業式

磐中卒業式

昨夏以來累々緊張振りを見せ 方法その他に就いて協議する。 昨夏以來累々緊張振りを見せ

教育費國庫負担の 郡下町村割當額發表さる

總計五万三千六百八十七圓

養務教育費の國庫負擔並に八年 度小學校費臨時國庫補助額の本 年度本部割當額は合計五萬三千

安い女房の命 虎の子を遺失し傷心 遂に覺悟の縊死

勿來町大字出倉勿來炭礦坑夫大 塚廣次妻キタ(五三)は昨二日午 前三時頃家人の熟睡してゐるを

農閑期の 副業成功

植田町農會では農閑期副業につ いて昨年茨城縣太田町附近の視 察をなした結果須藤技師が中心

江の島料理

住吉屋本店 調理部努力

いな島、水たき、鯛茶で好評の 住吉屋本店では季節向きの純江

十臺に過ぎないのを幸ひ今冬 は更に五十臺を購入する豫定 で大いに期待をかけられてゐ

看護婦と家政婦

私ばかり者の一看護婦で御い ますが、そして自己派を出し

私ばかり者の一看護婦で御い ますが、そして自己派を出し て此處に一年半居りますが、

工場擴張新築移轉廣告

毎度御引立を蒙り奉深謝候陳者此度各位の御後援により
 従來の平町白銀町工場にては狹隘を感ずるに至り工場擴
 張のため左記へ新築移轉仕候間何卒倍舊の御援助相賜は
 り度く移轉御通知旁々御願ひ迄申述候 敬具
 昭和九年一月

セメント・礦山用諸
 機械・エレベーター
 コンベヤー各種
 UKキヤリヤー・レ
 ターンガイド、ロー
 ラー各種製作販賣
 工事設計請負

平町河鐵 電話
 七字田河 三三
 目丁所工 梅田 二九
 田吉 九五

室内裝飾、設計圖案
 寄木加工、造作請負
 ラヂヲ箱、蓄音器箱

一葉屋洋家具製作店
 平町一丁目川岸通り
 電話三八八番(呼出)

耳鼻咽喉科専門 氣管食道科

病室完備：自炊の便あり
 平町南町 大和田醫院
 電話一七〇番

磐城名産 干やなぎ

いか鹽辛・鯉鹽辛・鯉節

平町土橋 鈴藏魚店
 電話六六二番

ゼブラ自轉車 代理店
 宮田自轉車

エビスヤ自轉車店

電話六六四番

化粧品、理髮器具一式
 クリーム、ポマード……ハカリ賣り

安全剃刀 (付砥皮研動自)
 鏡衣白 (種各小大)



300 Safety Razor
 "PAR" STROPS WITHOUT BLADE

自動研皮砥付
 パーレット安全剃刀

芳香園理髮器具店
 平町前(電話六八〇番)

高久病院

醫學士 高久忠
 新湯醫學士 赤羽清雄
 藥劑士 佐竹菊雄

内科小兒科 外科花柳病科
 耳鼻咽喉科 レントゲン科

小倉服賣出し

小學生 上等品 一圓六十錢
 中學生 特製A品 三圓五十錢
 小學生 特製B品 三圓五十錢

平町 正札堂洋服店 電話四三六

御祝儀用折詰
 大勉強致します
 魚又商店
 平町字柳町

刀劍研磨
 白鞘調製
 刀劍柄卷
 刀劍買入

研師 翠光齋
 船生 四郎
 平町十五丁目大通

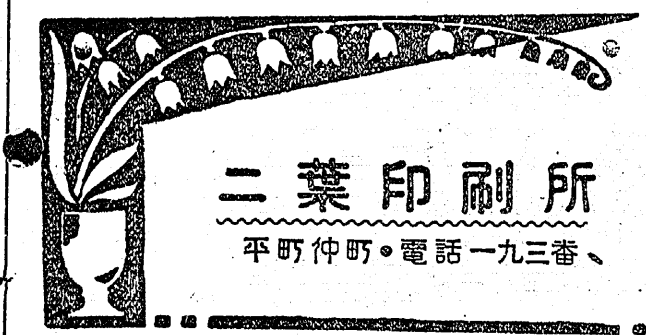
猪狩傘製造店

平町古銀冶町

名入御註文に應じます
 室内裝飾、設計圖案
 寄木加工、造作請負
 ラヂヲ箱、蓄音器箱

二葉屋洋家具製作店
 平町一丁目川岸通
 電話三八八番

鼻の藥「チクノール」
 山野邊藥局



二葉印刷所
 平町仲町・電話一九三番

外科 花柳病科 専門

平町六丁目橋際
 木村外科醫院
 電話三〇九番

斯界の權威
 大塚の靴

品質と三拍子揃へて
 視切味の最新型……御案内
 三四年式は
 黒革洋製品
 コロフ形半ボタン靴
 先エナメル 八圓より
 學生靴自家製品 各種

大塚製靴部
 運動具部
 電話七十七

貸切御用命

乗合は 好間・合戸・澤渡方面行
 助手 至急募集
 電話六八五番

牛乳配達員募集
 年齢十七才以上の男子
 数名至急入用
 四倉驛前 鈴木牛乳舎